

2026年1月27日

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程、宜しく願い申し上げます。

敬白

記

【新規受託項目】

コードNo.	検査項目名
14222 (従来システム 6667)	SP-D(肺サーファクタント蛋白D)/ラテックス凝集比濁法

SP-D(肺サーファクタント蛋白D)は肺胞Ⅱ型細胞などで産生される親水性の糖蛋白で、肺胞内腔の虚脱防止による呼吸機能の維持や、マクロファージの食食促進など生体防御に働きます。

SP-D は肺に障害が起こる各種肺疾患において血流へ流出し、特に肺の線維化を伴う間質性肺炎では血中濃度が高値を示すため、本検査は間質性肺炎の診断補助に用いられます。また、間質性肺炎では急性増悪時に著明に上昇するため、疾患活動性の評価に有用とされています。

この度、現行の CLEIA 法の試薬と同等の性能を有するラテックス凝集比濁法の試薬を用いた検査の受託を開始いたします。

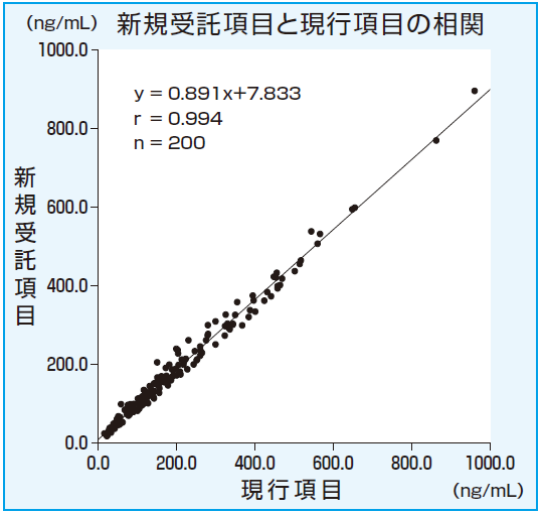
【開始時期】2026年3月2日(月) ご依頼分より

●当該検査の受託開始に伴い、現行の肺サーファクタントプロテイン D(SP-D)〈コード No.09423(従来システム 3140)〉は、2026年3月30日(月)ご依頼分をもって検査の受託を中止させていただきます。

【受託要領】

	新規受託項目	ご参考: 現行項目
コード No.	14222 (従来システム 6667)	09423 (従来システム 3140)
検査項目名	SP-D	同左
検体量	血清 0.5mL	血清 0.3mL
採取容器	B	同左
保存方法	冷蔵	同左
検査方法	ラテックス凝集比濁法	CLEIA法
基準範囲	110.0未満	同左
単位	ng/mL	同左
所要日数	3～4日	2～4日
報告範囲	15.0未満～最終値	15.0未満～100000以上
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	136点 / 生化学的検査(Ⅰ) 144点	同左

< 相関図 (ご参考) >



(委託先検討資料)

《検査方法の参考文献》
大島康平, 他: 医学検査 74, 340～346, 2025.

以上